

## VI. 研究

## 1. 研究活動

### (1) 研究業績

#### 1) 研究業績基準

##### <著書>

(11 学術書) 博士論文、単・共・編著を問わないが直接執筆に参加した専門書。編者のみの場合は(12 その他)とする。

(12 その他) 学術書以外の専門分野の著書(教科書、入門書、啓蒙書等)。

##### <学術論文(原著論文)>

(21 学会誌) 学会誌及び専門誌等で査読を受けた論文。

(22 紀 要) 査読を受けた紀要論文。査読を受けない論文は(23 その他)とする。

(23 その他) 上記以外の学術論文。

##### <学術論文(総説)>

(24 総 説) 学会誌や専門誌などに掲載された総説、解説、展望等。

##### <翻訳>

(31 学術書) 専門書及び専門分野における教科書、入門書等。

(32 その他) 専門分野以外の翻訳書。

##### <作品及び演奏発表等>

(41 作品及び演奏発表等)

情報処理による絵、音楽等の作品で公的に発表されたもの。

体育・スポーツの分野における作品で公的に発表されたもの。

(例：ダンス、体操などの発表)

##### <学会記録>

(51 一般発表) 学会及び各種学術研究会での発表で記録に残るもの。

(52 特別講演)

(53 シンポジウム、パネル)

(59 その他)

##### <口頭発表 記録に残らないもの>

(61 一般発表) 学会及び各種学術研究会での発表で、その内容は記録に残らないが発表年月日・機関・題目が残るもの。

(62 一般発表)

(63 シンポジウム、パネル)

(69 その他)

##### <その他の文筆活動>

(71 その他の文筆活動)

公的に発刊された出版物に掲載された著作で、専門・専門外を問わないが業績としてふさわしい水準のもの。

##### <その他>

(81 症例研究(医))

(89 その他) 上記の全ての業績区分に含まれないが、業績としてふさわしい水準のもの

(注) 本基準の運用については各学科に任せるものとする。

## 2) 研究業績一覧

学科	著書		学術論文		翻訳		作品演奏		学会記録		口頭発表		その他の文筆活動		その他		計
	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	
情報処理科	—	—	2	3	—	—	1	—	1	—	2	—	—	—	—	—	9
国際文化学科	—	—	6	3	—	—	—	—	3	1	3	1	6	—	—	—	23
計	—	—	14	—	—	—	1	—	5	—	6	—	6	—	—	—	32

### <研究業績表の見方>

著者・発表者	著書・論文・演題名等		
発行所・掲載誌・学会等	巻・号	ページ	発表形態
概		要	

### <研究業績内容>

#### 《情報処理科》

<b>Amphawan Julserewong、Wandee Petchmaneelumka、Tipparat Rungkhum、矢原充敏、藤本邦昭、佐々木博文</b>	Simple resistance to frequency converter with lead wire resistance compensation		
ICIC Express Letters	Vol. 7, No. 4	pp. 1183-1188	学術論文 (欧文学会誌)
抵抗一周波数変換を簡単に実現するための回路手法について提案している。抵抗一周波数変換の関係が極めて直線的に比例するだけでなく、リード線抵抗の補償についても提案している。			
<b>佐々木博敏、矢原充敏、藤本邦昭、佐々木博文</b>	A fractional multiplier by phase locked loop using multi-phase clock divider		
ICIC Express Letters	Vol. 7, No. 4	pp. 1121-1126	学術論文 (欧文学会誌)
多相クロック分周器を用いた非整数通倍の PLL 回路について提案している。本回路で用いている多相クロック分周器はデジタル構成であり、通倍比を大きく設定した場合にも安定な動作が得られることを明らかにしている。			
<b>赤井ひさ子</b>	インドの初等教員養成：養成校在学生の変化に焦点をあてて		
東海大学短期大学紀要(47号)	第47号	pp. 1-8	学術論文 (紀要)
インドの初等教員養成研究の必要性を示し、独立(1947)後の背景を概観し、事例となる初等教員養成機関の就学生の就学動機、家庭環境、将来の希望について分析し、初等教員養成の課題を示した論文。			
<b>花田伸一、中森修一、江頭輝和、八尋剛規、長崎昭</b>	思考力を高める ICT 活用の在り方		
福岡市教育センター 研究紀要	第914号	情1-情25	学術論文 (紀要)
思考力を高めるための ICT 活用の在り方についての研究を行った。ICT の特長を生かした動的資料を交流活動で活用することによって、思考力を高めることをめざした。その結果、「可視化」「記録」「比較」「関連付け」などの動的資料の効果により、思考の深まりや思考の広がりといった思考力の高まりが期待されることがわかった。			
<b>赤井ひさ子</b>	Decentralisation of Elementary Teacher Education in India: A Study of Problems and Prospects		
博士号取得論文(Ph. D. dissertation)、Tata Institute of Social Sciences (Mumbai) にて2013年12月に取得		pp. 1-280	学術論文 (その他)
社会学博士号を取得した論文。インドの初等教員養成機関での3年間わたるフィールドワークに基づいて、初等教員養成機関で学ぶ学生の就学状況、進路選択などを分析し、授業や教育実習の特徴を検討し、初等教員養成の質的充実に必要な事柄について論考した。また、連邦政府の教員養成政策と現場で教員養成教育を受ける就学生の意識を比較検討した論考も行った。			
<b>矢原充敏</b>	スイッチトカレントを用いた可変分周回路		
第4回 ユニーク・自作チップ・コンテスト優秀賞			作品 (表彰あり)
スイッチトカレントを用いた可変分周回路の IC チップを試作し、評価検証した結果、第4回ユニーク自作チップコンテスト優秀賞を受賞した。			
<b>八尋剛規</b>	データベース実習用フロントエンドの開発と実践		
日本産業技術教育学会第56回全国大会(山口)講演要旨集		p. 92	学会記録 (一般発表)
ICT の分野ではデータベース(SQL, RDBMS)の知識は必須である。SQL の管理ツールとして専用アプリケーションや Web アプリケーションが多数あり、開発現場だけでなく教育現場における教具としても利用されている。しかしながらこれらのツールは、教育現場においては、学習者側の進捗状況把握、さらには教員側としての提示ツールとしての機能に欠けるなど、教具としては十分に満足できるものではない。そこで、教具としての利用を前提としたデータベースのフロントエンドの開発・実践を行った。本稿では、その概要と結果について報告する。			
<b>赤井ひさ子</b>	インドの初等教員養成政策と教員養成校在学生		

アジア教育史学会第22回大会にての発表			口頭発表 (一般発表)
インドでは初等義務教育完全実施を目前にしており、初等教員養成の質的充実が注目されている。本発表では、初等教員養成校在学生に対する政策について、歴史的視点から検討し、発表した。(於日本弘道会ビル、2013年8月8日)			
<b>矢原充敏</b>	A Voltage controlled oscillator with threshold automatic compensation based on schmitt-trigger circuit using CMOS inverter		
ICICIC2013			口頭発表 (一般発表)
本論文では、閾値自動補正回路を有するCMOSインバータによるシュミットトリガ回路と演算増幅器によるミラー積分回路を用いたVCOを提案している。本回路は、高周波領域においても回路素子遅延の影響を受けることなく、安定した動作を実現できる。			

《国際文化学科》

<b>柏木翔</b>	IMPACT OF GLOBAL TOURISM ON A LESS DEVELOPED DESTINATION: THE CASE OF LUANG PRABANG, LAOS		
Asia Pacific Tourism Association Conference Paper	第19号	(総ページ数) 11p	学術論文 (欧文学会誌)
This research paper explores ways to enhance the positive impacts and to diminish the negative impacts of tourism on Luang Prabang. Consequently, community-based tourism development (CBTD) is explored to increase the benefits and reduce the costs of being a global tourist destination. Finally, the importance of both vertical and horizontal collaboration among stakeholders from government to local residents in CBTD is discussed.			
<b>柏木翔</b>	ESTABLISHING A COLLABORATIVE STRATEGY FOR MARKETING CHANNELS FOR EDUCATIONAL TOURISM IN JAPAN		
Asia Pacific Tourism Association Conference Paper	第19号	(総ページ数) 24p	学術論文 (欧文学会誌)
This paper explores an ideal practice of marketing channel strategy in the promotion of Educational Tourism (ET). It also attempts to clarify the roles played in ET marketing by destination marketing organisations (DMOs) and educational institutions. The adaptation of those ideal practices and roles played by stakeholders including DMOs, educational institutions, and governmental bodies to the development of ET market in Japan is discussed as a case study.			
<b>柏木翔</b>	教育旅行インバウンドマーケティングにおける異組織間協働戦略		
東海大学福岡短期大学紀要	第47号	pp. 9-16	学術論文 (紀要)
少子化の影響により日本国内学生のみでは大学の経営が困難になるという展望を鑑み、留学生数を増大することを念頭に、異組織間協働戦略のアドバンテージ及びアドバンテージを整理した。また留学生によるVFRの誘引、自身がリピーターとしての長期経済的ベネフィット等の教育旅行市場の特性を鑑み、異組織間協働戦略の有効性を明らかにした。			
<b>チョウアンナ</b>	日中文字と語彙の構造における陰陽合一の比較研究		
東海大学福岡短期大学紀要	第47号	pp17-25	学術論文 (紀要)
中国の漢字は、その成立の時代においてすでに上下・左右の対称の美を志向しており、その対立した陰陽合一の造型性が支えられている。一方、日本語は「表語文字・表音文字」「漢字・仮名」「和語・漢語」など、一つの表記体系、一つの語彙に2種類で使い分ける傾向が見られる。いわゆる1つの陰と1つの陽を調和してしめ縄のように絡み合っている併用する特色がある。中国語は対称的に一對の「2→1」立体的な合一に対して、日本語は陰1つ・陽1つ「1+1→1」の線状に合一の図形となるだろう。この違いこそ、両国の伝統文化の心髄を織りなしてきたものではないかと結論したい。			
<b>真下仁、宮川幹平、藤本幸男</b>	短期大学という教育システムにおける初年次教育の意義～短期大学型初年次教育の模索～		
東海大学短期大学紀要	第47号	pp27-34	学術論文 (紀要)
四年制大学を中心として作り上げられた初年次教育の理念と運営は、必ずしも短期大学の二年間の教育には適応するものではない。今回、東海大学福岡短期大学のフレッシュマンゼミナールを通して、短期大学に相応しい形での初年次教育を模索し、くいつでもどこでも体験できる短期完成型の教育プログラム「ユニット」を、特に短期大学では重要な「就職対策」プログラムとして開発した。本論文は、そのコンセプトと教育効果の検証を通して、より有効なユニット開発への礎を作るものである。また、本「ユニット」をより効果的に運用するために、e-Learning化を進めている。			
<b>岡本武志</b>	不活動による筋萎縮の分子メカニズム		
東海大学短期大学紀要	第47号	pp. 65-73	学術論文 (資料)
骨折などの外傷による固定処置や安静・免荷状態、疾病の治療に伴う長期臥床など、身体の不活動状態を惹起させる要因は我々の身近なところに存在する。不活動状態が引き起こす症状のひとつとして、骨格筋の顕著な萎縮が挙げられる。スポーツ選手において、ケガなどの治療中に生じる筋萎縮を適切な方法で予防・治療することは、早期復帰を後押しし、復帰後のパフォーマンス低下やケガの再発を防ぐ上で重要である。また、高齢期での身体活動量の低下や疾病の治療に伴う長期臥床による不活動状態は、加齢性筋肉減弱症(サルコペニア)を促進する可能性がある。さらに、不活動によって一度萎縮した骨格筋の回復は、高齢であるほど遅延することから、そのまま「寝たきり」に繋がる危険性も指摘されている。これらのことから、不活動による筋萎縮に対する適切かつ効果的な予防・治療法の確立は非常に重要な課題であるといえる。そのためには、予防・治療においてターゲットとなりうる因子の同定が重要となり、筋萎縮を引き起こすメカニズムの解明が必要となる。そこで、本稿ではこれまでに明らかになっている不活動による筋萎縮の分子メカニズムについて概説する。			
<b>北濱幹士</b>	地域スポーツ大会への参加による学園友誼団体の組織活性化 —宗像ユリックス 24時間 EKIDEN 大会における成果と課題—		
東海大学短期大学紀要	第47号	pp. 75-80	学術論文 (資料)
学園友誼団体(校友会)で出場している地域スポーツ大会「宗像ユリックス 24時間 EKIDEN 大会」を通じての、各団体の繋がり、協力体制、取り組みや効果、また今後の動向について考察した。			
<b>岡本武志、柏木翔、北濱幹士</b>	スポーツ実習における種目の選択が授業内での身体活動量に及ぼす影響		
東海大学教育研究所 研究資料集	第21号	pp. 133-139	学術論文 (その他)
東海大学福岡短期大学で実施されている「スポーツ理論及び実習A」では、スポーツを楽しむことを重要視していることから、複数の種目を設定し、学生が自由に選択できるようにしている。すなわち、ガイダンス、体力測定、授業のまとめを除いた12回にわたる			

<p>授業回において、第3-6回目ではテニスまたはバスケットボールを、第7-10回目ではバドミントン・ソフトバレーボールまたはサッカーを、第11-14回目ではフィットネスまたはフライングディスクを選択できるように設定した。しかし、このような授業構成が授業内における身体活動量に対して及ぼす影響については明らかではない。そこで本研究では、スポーツ理論及び実習Aにおける種目の選択が、授業内での身体活動量〔歩数、身体活動による消費エネルギー（活動エネルギー）〕に及ぼす影響について、開講時の学生の体力と関連付けた検討を試みた。その結果、同時期に展開される2種目のいずれかを選択した学生間で体力測定の結果を比較したところ、種目間で有意な差が認められた。また、歩数および活動エネルギーに関しても同様の検討を行ったところ、選択した種目間で有意な差が認められた。体力測定の結果と歩数および活動エネルギーの結果が類似した傾向を示したことから、学生は自身の体力レベルに見合った活動量を伴う種目を選択していることが推察された。</p>			
<b>北濱幹士、柏木翔、岡本武志</b>	短期大学生におけるスポーツの必要性～フェイススケールから検討するスポーツ実習における学生の意識～		
東海大学教育研究所 研究資料集	第21号	pp. 141-147	学術論文（その他）
<p>スポーツ理論及び実習では、スポーツを楽しみながら経験を得る事に着目したカリキュラム編成を行っている。しかし、楽しみの尺度は個人によって異なるものである。そこで、フェイスマークスケールを使用して学生の意識調査を行い、楽しさとの相関関係を検証した。</p>			
<b>柏木翔</b>	異産業協働インバウンドマーケティングのフレームワーク構築に向けて-豪州ブリスベン市留学市場の事例-		
日本国際観光学会	第17回	pp. 8-9	学会記録（一般発表）
<p>豪州クイーンズランド州ブリスベン市の留学インバウンドマーケティングの手法や取り組みを事例として取り上げ、日本における訪日留学生数増加に向けた異産業協働インバウンドマーケティングのフレームワーク構築の提案した。ここで言う異産業は、観光産業と教育産業のを指している。留学生へマーケティングアプローチをする際には観光的情報及び教育的情報が必須であり、両産業の協働を行うことで相互の魅力を横断的に共有できる。結果、見込留学生が留学先を選択する際に欲する両情報を提供することが可能になる。</p>			
<b>柏木翔</b>	メガスポーツイベントの観光的活用-外国人観光客数と観光収入額の視点から-		
九州レジャー・レクリエーション学会			学会記録（一般発表）
<p>本発表ではメガスポーツイベント（MSE）開催地における外客数及び観光収入額の諸相を把握し、MSEを利用したインバウンド観光マーケティング手法の提言に向けての一考察であった。結果、MSEは正負両方の影響を外客数及び観光収入額に与えることが明らかになった。またMSEのインバウンド観光マーケティング手法を定めていくためには、開催地と観光客出発地及び観光客の相関関係が重要な調査項目であった。特に国籍や年齢、所得等の観光客の特徴やディスタンスディケイ等が考慮されるべき項目であった。</p>			
<b>柏木翔</b>	海外の観光学教育・人材育成の現状-クイーンズランド大学（豪州）を事例として-		
日豪ツーリズム学会			学会記録（一般発表）
<p>大多数の観光学学位取得学生が観光産業への進路選択をしている豪州の現状を、クイーンズランド大学観光学科（以後、UQ）を事例として分析した。結果、留学生受入、シラバス、課題、観光産業を取り込んだ人材育成体勢が重要な役割を担っていることが明らかになった。また専攻や経験を重視する産業側の意向や必要な人材を随時採用する豪州の採用特徴が寄与していることも要因であった。</p>			
<b>岡本武志、町田修一</b>	不活動と筋タンパク質分解～筋線維組成によるユビキチンリガーゼ遺伝子の発現応答の差異をさぐる～		
第68回日本体力医学会大会『体力科学』	63巻第1号	p. 143	学会記録（シンポジウム）
<p>癌、糖尿病、低栄養等によって萎縮した骨格筋で共通して強く発現し、筋タンパク質分解に関わる2つの筋特異的ユビキチンリガーゼ（E3）遺伝子 Atrogin-1、MuRF1 は、各々のノックアウトマウスにおいて除神経による筋萎縮が軽減されることから、これらが筋萎縮に強く関与することが知られている。しかし、ベッドレストやギブス固定等の不活動に伴う筋萎縮における筋特異的E3遺伝子の発現様式やその発現調節機構に関して、特にそれらの筋線維タイプの特異性については解明されていない。本研究では、特に筋線維特異性に着目して、不活動に伴う筋萎縮における筋特異的E3遺伝子の発現およびその分子機構を解明することを目的とした。</p>			
<b>柏木翔</b>	IMPACT OF GLOBAL TOURISM ON A LESS DEVELOPED DESTINATION: THE CASE OF LUANG PRABANG, LAOS		
Asia Pacific Tourism Association 2013 Annual Conference			口頭発表（一般発表）
<p>This research paper explores ways to enhance the positive impacts and to diminish the negative impacts of tourism on Luang Prabang. Consequently, community-based tourism development (CBTD) is explored to increase the benefits and reduce the costs of being a global tourist destination. Additionally, the importance of both vertical and horizontal collaboration among stakeholders from government to local residents in CBTD is discussed. Finally the necessity of sustainable mass tourism products is suggested to generate a win-win situation among triple bottom lines of tourism.</p>			
<b>柏木翔</b>	ESTABLISHING A COLLABORATIVE STRATEGY FOR MARKETING CHANNELS FOR EDUCATIONAL TOURISM IN JAPAN		
Asia Pacific Tourism Association 2013 Annual Conference			口頭発表（一般発表）
<p>This paper explores an ideal practice of marketing channel strategy in the promotion of Educational Tourism (ET). It also attempts to clarify the roles played in ET marketing by destination marketing organisations (DMOs) and educational institutions. The adaptation of those ideal practices and roles played by stakeholders including DMOs, educational institutions, and governmental bodies to the development of ET market in Japan is discussed as a case study.</p>			
<b>松本知子</b>	英語の句動詞についての一考察-効果的な指導法を求めて-		
第19回映画英語教育学会全国大会			口頭発表（一般発表）
<p>映画を用いて、英語学習者が苦手とする文法項目の1つである句動詞の効果的な指導法を提示した。映画は『ハリウッド・ボッター』シリーズで、不変化詞 up, about, off を含む句動詞が多く出てくる場面を取り上げ、映画の場面を基にその不変化詞の持つ基本イメージを視覚化して捉え、動詞との組み合わせと文脈により句動詞の意味を段階的に理解していく指導法を提示した。また、応用力を培うため、難解と思われる句動詞(例 well off) の意味の理解を促す練習問題を提示した。</p>			
<b>岡本武志、矢野博己</b>	ワークショップ14: 筋肥大と筋萎縮の生理学		
第68回日本体力医学会大会			口頭発表（シンポジウム）
<p>高齢社会になった日本の現状において、どう「健やかに生きる」か、そしてどう「生き抜く」かは、老いを受け入れなければならない日本人にとって大切な哲学（人生観）となりつつある。動物の定めは、その名の通り動くことであり、骨格筋によって支えられた活動性こそが私たち人間の健康寿命の鍵を握ることは納得できるはずである。今まさに日本体力医学会が真剣に取り組むべきテーマのひ</p>			

とつ、それが我々の活動性を担保してくれる骨格筋の肥大と萎縮の分子機構を紐解くことであり、その結果、「健やかに生きる」人生観を骨格筋生理学の視点から垣間見ることが可能となるのかもしれない。このワークショップでは、新進気鋭の若き研究者間で、おのおの最先端技術（マテリアルや研究ツール）と研究成果をご披露いただき、今後さらに骨格筋生理学を伸展（進展）させる方向性をお示しただけのものだと確信する。肥大も萎縮もこのワークショップのメンバーに委ねられたし…。			
<b>柏木翔</b>	海外の観光学教育の現状－クイーンズランド大学（オーストラリア）の事例		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第16号	pp.19-27	その他の文筆活動
クイーンズランド州立大学ビジネス経済法学部観光学科（以後、UQST）学士課程及び修士課程のプログラムや開講科目、教員、学生、産業との関わり等の特徴を統計値や本稿筆者のUQST修士課程に在籍した経験を下に報告された。まとめとして、グループ課題及び実務統合学習等のビジネス的素養を伸ばす講義及びカリキュラム構成や、留学生数と国内学生数の割合がUQSTの特徴であることが報告された。			
<b>神山高行</b>	宗像・沖ノ島と関連遺産群		
東海大学福岡短期大学 観光文化研究所 所報	第17号	pp.15-20	その他の文筆活動
2016年（平成28年）にユネスコの世界文化遺産の登録を目指している「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の概要と取り組みについて紹介した。			
<b>亀田俊隆</b>	タイ王国の世界文化遺産～スコータイとアユタヤ～		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第17号	pp.9-14	その他の文筆活動
タイ王国の国民はほとんどが敬虔な仏教徒であり、伝統的に日本に対して友好的である。世界遺産に登録されている二大仏教遺跡「スコータイ」と「アユタヤ」の紹介をとおしてタイ人の国民性と伝統文化を考察した。			
<b>北濱幹士</b>	「宗像」の歴史を振り返る－唐津街道・長崎街道、赤間に着目して		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第17号	pp.35-39	その他の文筆活動
宗像の歴史を振り返り、「地元学・地域学」が史跡・文化財の保全・保護と併せての繋がりを示唆した。			
<b>Jean L. Ware</b>	Visiting Palm Springs, California		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第16号	pp.63-70	その他の文筆活動
Introduces Palm Springs, California. Includes history and some local animals and plants. Discussed things to see and do.			
<b>藤本幸男</b>	世界遺産を旅する（1）－水上都市ベネチアのからくり		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所所報	第17号	pp3-8	その他の文筆活動
「水の都」、「アドリア海の女王」などの別名をもつベネチアは、アドリア海の奥まった「潟（ラグーナ）」に生まれた。なぜ彼らベネチア人は、きわめて居住性の悪い海の中に住まいを決めたのか？5世紀にさかのぼる歴史の解説と、旅する視点で世界遺産都市の今を紹介する。			

### 3) その他の社会活動

- a. 専任教職員による官公庁等学外機関、本学園の広報機関等への公的な発表、専門知識や学識経験等を生かした活動

#### <研究業績表の見方>

発表者・活動者	テーマ・タイトル
	発表・活動の場所もしくは取組名称
	概要

#### <研究業績内容>

<b>岡本武志</b>	健康づくりは筋肉づくりから！
宗像市ルックルック講座	
【講座概要】加齢に伴う筋肉量の低下は寝たきりに繋がる危険性が指摘されています。その予防にはどのようなライフスタイルが望ましいのか、特に運動・スポーツに着目して解説します。【開催日時】2013年9月11日【受講対象】老人クラブ 福寿会 赤間ヶ丘一区（参加人数：36名）【開催場所】赤間ヶ丘一区公民館	
<b>岡本武志</b>	健康づくりは筋肉づくりから！
宗像市ルックルック講座	
【講座概要】加齢に伴う筋肉量の低下は寝たきりに繋がる危険性が指摘されています。その予防にはどのようなライフスタイルが望ましいのか、特に運動・スポーツに着目して解説します。【開催日時】2013年7月11日【受講対象】日の里ヘルス推進員（参加人数：31名）【開催場所】日の里コミュニティホール	
<b>柏木翔</b>	持続可能な観光発展－自然環境・地域社会・経済の発展を目指して－
むなかた協働大学	
観光振興により地域経済を活性化させることを目指し、観光のトリプルボトムライン（地域社会、自然環境、経済）と観光の相互関係を解説。国内外の事例を取り上げ、福岡県宗像市の観光振興の今後を考察。	
<b>北濱幹士</b>	遊びのススム
宗像市ルックルック講座	
身体活動に纏わる英単語を教え、それらを使用してゲームを行った。後半は、参加者が協力して何かを成し遂げるチカラが養えるように、フラフープなどを使用してチームワークを必要とする活動を行った（宗像市岬地区コミュニティーセンター）。	
<b>北濱幹士</b>	遊びのススム

宗像市ルックルック講座	
身体活動に纏わる英単語を教え、それらを使用してゲームを行った。また、グループ対抗で各種ボールを使用したリレーなどを行い、コミュニケーションを取り、協力して何かを成し遂げるチカラが養えるような活動を行った。尚、本講座は、宗像市の3つの小学校（赤間、河東西、玄海東）の学童保育所で計6回開催した。	
宮川 幹平	ICT活用講座
宗像市ルックルック講座	
ソーシャルメディアの普及によってどのように社会が変わりつつあるのか、その利点と課題の両面から解説を行った。また、Windows8.1をはじめとした最近のICT環境の潮流について、デモンストレーションと解説を行った。	
宮川 幹平	ソーシャルメディアとの付き合い方
高大連携（出前講義）	
福岡県立宇美商業高等学校にて、ソーシャルメディアの普及によって社会がどのように変容しつつあるのか、高校生に普及が進むLINEを中心として、その利点と課題について講義を行った。	
八尋 剛規	タブレットを授業でどう活用することができるのか
福岡市情報教育研究会第2回定例会 講話	
福岡市情報教育研究会の定例会において、基調講演を行った。タブレットの教育現場における役割と今後について、技術的側面、現在行われている関連技術研究等についての紹介を行った。	

b. 専任教員による研究所・官公庁・民間等の学外機関から委嘱を受け、専門知識学識経験等を生かした公的活動

氏名	委嘱機関名	委嘱内容
岡本 武志	夢灯籠まつり実行委員会	夢灯籠まつり実行委員会委員
柏木 翔	平成25年度宗像市職員採用試験（一般行政C）第二次試験面接官	宗像市役所 202 会議室（北館2階）
亀田 俊隆	築上町教育委員会	築上町教育委員会委員の委嘱
北濱 幹士	宗像市 市民協働・環境部 文化・スポーツ推進課	宗像市スポーツ推進審議会委員
北濱 幹士	夢灯籠まつり実行委員会	夢灯籠まつり実行委員会委員
原田 慎吾	福岡県立筑豊高等学校	「ネットワーク社会におけるデジタルコンテンツ」の講師
宮川 幹平	宗像市（総務課情報推進係）	宗像市情報化推進会議委員
宮川 幹平	宗像市役所本館3階301会議室（総務課情報化推進係）	平成25年度第1回宗像市情報化推進会議
宮川 幹平	宗像市役所本館2階201会議室（総務課情報化推進係）	平成25年度第2回宗像市情報化推進会議
宮川 幹平	むなかた電子博物館	運営委員会委員（会計）
真下 仁	一般財団法人短期大学基準協会	平成26年度第三者評価に係る評価員の委嘱
真下 仁	中村学園三陽高等学校	「進学ガイダンス」の講師
真下 仁	宗像市（市民協働・環境部 男女共同参画推進課）	宗像市男女共同参画推進懇話会委員の委嘱
藤本 幸男	宗像市役所 経営企画部 経営企画課	宗像市総合計画審議会委員
藤本 幸男	宗像市教育委員会（宗像市市民協働・環境部郷土文化学習交流課）	宗像市郷土文化学習交流館協議会委員
八尋 剛規	福岡市教育センター（担当部署：研究支援課）	情報教育研究室 講師
八尋 剛規	福岡市教育センター（担当部署：研究支援課）	研究主題審議等
八尋 剛規	福岡市教育センター（担当部署：研究支援課）	情報教育研究室実証授業
八尋 剛規	福岡市教育センター（担当部署：研究支援課）	情報教育研究室 研究発表会事前指導
八尋 剛規	福岡市教育センター（担当部署：研究支援課）	情報教育研究室 研究発表会指導助言

c. 専任教員による学会等の運営に関する活動

氏名	学会名	委員名
赤井 ひさ子	アジア教育史学会	常任理事
神山 高行	日本英語表現学会	理事
藤本 幸男	日本国際観光学会	理事 九州・沖縄部会長

d. 専任教員による外部の大学への非常勤出講

氏名	委嘱機関名	委嘱内容
亀田 俊隆	美萩野保健衛生学院	非常勤講師 2013. 4. 6～2013. 9. 30 春1コマ
佐竹 則昭	西南学院大学	非常勤講師 2013. 4. 1～2013. 9. 30 春2コマ
藤本 幸男	東洋大学	非常勤講師 2013. 9. 21～2014. 3. 31 後期2コマ
八尋 剛規	福岡教育大学	非常勤講師 2013. 10. 4～2014. 3. 31 後期1コマ集中講義

(2) 海外活動

専任教員による海外での活動（講演・調査・研究等）

氏名	目的	期間	国名
柏木 翔	タイ APTA 学会	6月29日～7月7日	タイ
林 大仁	韓国短期留学A引率	8月2日～8月7日	韓国
林 大仁	韓国短期留学A引率	8月8日～8月16日	韓国
柏木 翔	韓国短期留学A引率	8月6日～8月9日	韓国
ウェア ジーン	ハワイ短期留学引率	9月5日～9月18日	アメリカ
真下 仁	フランス現状調査・資料収集	12月23日～1月4日	フランス
赤井 ひさ子	インド研究活動打合せ・資料収集	12月23日～1月5日	インド
林 大仁	韓国短期留学B引率	2月5日～2月19日	韓国
チョウ アンナ	中国短期留学引率	3月3日～3月16日	中国

(3) 科研費応募・採択状況

	応募件数	採択件数
研究分担者分	1（新規1）	1

1) 本学専任教員が研究代表者であるもの

2) 本学専任教員が研究分担者であるもの

研究課題 短期大学教育の質保証のための高校短大連携教育の在り方に関する調査研究  
 研究種目 挑戦的萌芽研究  
 研究分担者 神山 高行 教授  
 補助金額 45万円（平成24：15万円、同25：20万円、同26：10万円予定）

2. 研究のための条件

個人研究費は、研究の活性化および研究費の効率的運用のため、教員全員に配分される。



**(1) 研究費**

専任教員：17 万円（学長 10 万円）、特任教員：13 万円

**(2) 研究に係る経費****2013 年度決算 研究経費**

項 目	情報処理学科	国際文化学科	合 計
用品費	0	61,698	61,698
消耗品費	534,671	522,054	1,056,725
図書資料費	22,109	423,547	445,656
旅費交通費	399,191	457,329	856,520
印刷製本費	24,000	0	24,000
通信運搬費	12,500	0	12,500
修繕費	0	0	0
賃借費	0	0	0
諸会費	86,050	73,000	159,050
委託費	0	0	0
雑費	0	400	400
合 計	1,078,521	1,538,028	2,616,549